

各高齢者福祉施設 代表者 様

愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課長

高齢者施設における新型コロナウイルス感染症拡大の現状を踏まえた
保健所からの指導助言等について

平素は、本県における医療・福祉行政の推進について格別の御理解、御協力を賜り厚く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が全国で急拡大する中、本県においても、連日多くの陽性確認が続いており、基礎疾患のある方や高齢者等の重症化リスクのある方への感染拡大に伴う医療提供体制のひっ迫が懸念される所です。

こうした中、高齢者施設におけるクラスターの発生が相次いでおり、保健所による疫学調査によりますと、「入浴介助の際にマスクを外す」「マスクを着用していても耳元で大声で会話する」等サービス提供の中で感染対策の隙が見られるなど、下記のとおり感染の場面や注意すべき事項が明らかとなっております。

つきましては、保健所からの指導助言等を踏まえ、貴所内における感染対策について改めて点検いただき、感染拡大の回避に万全を図っていただきますようお願いいたします。

【保健所の指導助言等を踏まえた留意事項】

- 換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や発声をする密接場面の回避（ゼロ密）
- マスクの適切な着用、こまめな換気の徹底、正しい手洗いの励行等の徹底
- マスクを外さなければならない場面（昼食時、更衣時）や、換気が不十分な場合は、感染リスクが高まることから、こうした場面での活動をできる限り避けるよう、特段の注意喚起が必要
- 職員に発熱や咽頭痛等の風邪症状が少しでもある場合には、自宅で休養し受診することを徹底させるとともに、同居の家族に風邪症状がみられる場合も出勤を控える等、適切に対応させる。

マスク着用に係る留意事項

- ① 正しいマスクの着用
 - ・鼻と口の両方を確実に覆う。 ・ゴムひもを耳にかける。
 - ・隙間がないよう鼻まで覆う。
- ② マスクの取扱い
 - ・マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外し、手指にウイルス等が付着しないよう、なるべく表面には触れず、内側を折りたたんで清潔なビニールや布等におくなどして清潔に保つ。

③ マスクの素材

- ・マスクの素材等によって、マスクの効果には違いが生まれ、一般的なマスクでは、**不織布マスクが最も高い効果**を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があるとされている。

換気に係る留意事項

① 常時換気の方法

気候上可能な限り、**常時換気に努める**。常時換気が難しい場合は、こまめに（30分に1回以上）数分間程度、窓を全開にする。

② 窓のない部屋

常時入り口を開けておいたり、換気扇を用いたりするなどして十分に換気に努める。また、使用時は、人の密度が高くなるように配慮する。

③ エアコンを使用している部屋

エアコンは室内の空気を循環しているだけで、室内の空気と外気の入れ替えを行っていないことから、**エアコン使用時においても換気は必要**。

④ 換気設備の活用と留意点

換気扇等の換気設備がある場合には、常時運転する。換気設備の換気能力を確認することも必要。（窓開けとの併用）

⑤ 冬季における換気の留意点

空気が乾燥し、飛沫が飛びやすくなることや、季節性インフルエンザが流行する時期でもあるため、徹底した換気に取り組む。

(ア) 室温低下による健康被害の防止

換気により室温を保つことが困難な場面が生じることから、室温低下による健康被害が生じないように、空調を適切に使用するとともに着衣について適切に対応する。

(イ) 機器による二酸化炭素濃度の計測

十分な換気ができているかを把握し適切な換気を確保するために、換気を目安としてCO₂モニターにより二酸化炭素濃度を計測することも検討する。

手洗いに係る留意事項

様々な場所にウイルスが付着している可能性があるため、**手洗いの6つのタイミング**（**①外から施設内に入る時 ②咳やくしゃみ、鼻をかんだ時 ③食事の前後 ④清掃の後 ⑤トイレの後 ⑥共有のものを触った時**）でこまめに手を洗うこと、30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗うことなどを徹底する。

また、施設内に配備してあるアルコール製剤により手指消毒を行うなど、手指の衛生管理に努めるよう併せて指導する。

なお、石けんやアルコールを含んだ手指消毒液に過敏に反応する場合や、手荒れの心配があるような場合は、流水でしっかり洗うよう指導するなど配慮する。